



新庁舎建設事業 NEWS

vol. **9**

新庁舎建設事業の進捗状況をお知らせします。

新庁舎建設基本計画（案）の概要をお知らせします。

これまで検討を進めてきた新庁舎建設について、新庁舎建設事業NEWS®に引き続き、基本計画（案）の概要についてお知らせします。

新庁舎の配置計画について

新庁舎の位置や規模、計画地の配置等の考え方については、次のとおりです。

■ 新庁舎の建設位置 ～現庁舎敷地を選定～

新庁舎の建設位置については、以下の基準から、まちづくりの拠点や市民の利便性、事業の経済性などさまざまな視点から判断し、現庁舎敷地を最善と選定し、空知川が近くにあることから懸念される水害対策をとることとしています。



■ 新庁舎の規模 ～ 目標面積 8,200㎡ ～

新庁舎の規模は、集約化する行政窓口部署を次のとおりとし、今後の人口減少社会を踏まえ、よりコンパクトな施設とするため、庁舎と文化会館の複合化により、会議室等の共用化や、執務室の効率化等により、新庁舎の延べ床面積を現行の約2割削減の8,200㎡を目標に必要な機能等の縮減を図ります。

現在の配置施設	対象部署名	対象職員数
現庁舎	全部署	169 人
図書館	学校教育課、こども未来課	27 人
保健センター	福祉課、高齢福祉課	33 人
文化会館	市民協働課、社会教育課	15 人
合計		244 人

※職員数は平成30年10月1日現在

現面積		新庁舎面積
現庁舎等	6,817㎡	
現文化会館	3,550㎡	
合計	10,367㎡	
		約8,200㎡

■ 新庁舎の配置

新庁舎の建物の位置は、現庁舎を使いながら建設が可能な敷地北側とします。

東側に庁舎機能、西側に文化会館機能を配置し、諸室の快適性に配慮した計画とし、来庁者駐車場は、文化会館跡地の駐車場予定地も含め、歩行者と車両動線の分離や利用者の利便性に配慮した位置と



■ 新庁舎の階構成

新庁舎の各階は、次のような機能配置とします。

【窓口機能・市民活動機能】

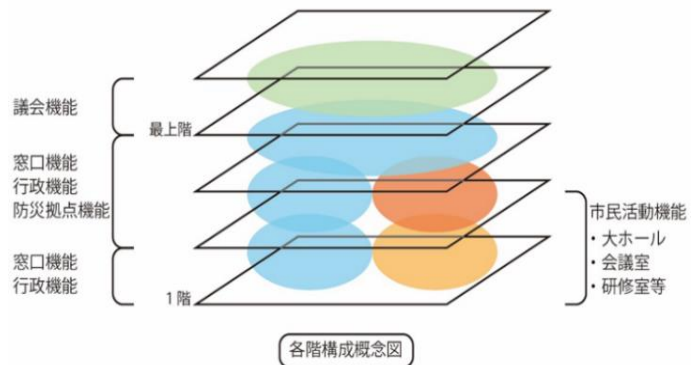
市民が利用しやすい低層階に配置

【行政機能】

部署間の連携に配慮した配置

【防災拠点機能】

浸水対策に配慮し2階以上の上層階



■ 新庁舎の事業計画

■ 概算事業費と財源見通し

● 概算事業費

種 別	金 額
建設工事費	44.5億円
解体・外構工事 その他経費	13.5億円
合 計	58.0億円

地方債返済額

(30年償還 (5年据置) 金利1%とした場合の試算)

地方交付税措置	20.1億円
市町村役場機能緊急保全事業	9.8億円
集約化・複合化事業	10.3億円
市の返済額…②	39.9億円

● 財源見通し

地方債	庁舎整備基金…①	合 計
51.0億円	7.0億円	58.0億円



実質的な負担 (①+②)

46.9億円

■ 建設事業手法

事業手法は、「設計・施工分離発注方式 (従来方式)」、「設計・施工一括発注方式 (DB方式)」、「技術協力・交渉方式 (ECI方式)」の中から採用することとし、引き続き、設計段階において、地域経済への波及効果を十分考慮しながら、慎重に検討していきます。

■ 事業スケジュール

今後の事業スケジュールは、右の図のとおり、国の財政支援活用を目指し、平成32年度工事着工を目指し、供用開始は平成34年度を予定しています。

なお、基本計画、基本設計の各段階で、市民の皆さんのご意見を聴く、市民説明会やパブリックコメントを実施していきます。



※基本計画(案)の全文は市ホームページ、市行政情報コーナー等でご覧いただけます。

新庁舎建設基本計画 (案) のパブリックコメント (市民意見提出制度) を実施しています。

(4月1日から4月22日まで)